



国際ロータリー第2760地区ガバナーに籠橋美久さんが就任

「明るく楽しい垣根のない奉仕団体に」 女性会員の増強、環境問題もテーマ

国際ロータリー第2760地区（愛知県全域）の2022年－23年度ガバナーに名古屋中ロータリークラブの籠橋美久さんが就任した。ガバナーとは地区のトップリーダーのことで、向こう1年間の愛知県のロータリアンの奉仕活動をリードする役目。会員数4600人強の全国的にも大規模な地区のかじ取りを任された籠橋さんは、「コロナでリセットされた新しい時代に明るく楽しい奉仕団体にしたい」と意欲旺盛だ。（聞き手は塚本隆編集長）

塚本 ガバナー就任おめでとうございます。5000人近い愛知地区のロータリアンを束ねるたった一人の要職ですね。

籠橋 ありがとうございます。束ねるというのではなく、4600人の会員の皆さんとともに明るく楽しいクラブ、垣根のないクラブづくりを目指したいと思います。

——コロナ禍でロータリーの活動も制約を受けましたか。

籠橋 というより、活動は止まっていません。

例えば、ズームによる遠隔会議やハイブリッド例会、バーチャル会議などで「このようにできるんだ」といった発見がありました。つまり、従来のやり方にとらわれずにゼロからスタートできることに気づいた。その一方でリアルに顔を合わせその雰囲気を感じることの大切さ、感動や共感といった価値にも気づかされた。そんな2年間だったと思いますね。まさに逆境に強いロータリーです。地区研修協議会など重要な会議がリアルで開くことができたのも幸いで

した。

——新年度の地区方針とは？

籠橋 「未来を描こう」「笑顔でつながろう」という方針をキーワードに、サブテーマは「一人一人のチャレンジを力に 変化に対応できるクラブ目指して」としました。難しい言葉ではなくできるかぎりわかりやすい言葉で表現しました。コロナであらゆることがリセットされた変化の時代であることを踏まえ、未来に向けて新たな時代の新たなクラブづくりにチャレンジをしよう、と考えました。

まずロータリークラブのムード向上を目指す。つまり明るく楽しいものにする。その結果、皆さんが笑顔で奉仕活動ができる。つまり一人一人の会員が価値ある活動に達成感を感じれば笑顔になってさらなる活動に意欲をもって取り組むこととなります。自由な雰囲気の中、会員同士が和気あいあいのうちに意見交換し笑顔で奉仕活動に取り組む、そんな好循環をつくりたいですね。そして会員増強、地域から頼られるクラブ、環境問題とりわけ海洋マイクロプラスチックの排出ゼロ運動にも取り組みたい。

——人口減によって日本のロータリーはどこも会員数の減少が共通の悩みです。会員増強にもつながりますか。

籠橋 ロータリークラブが提唱する奉仕クラブには、12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブ「インターアクト」と、18歳以上の青年男女のための「ローターアクト」があります。将来のロータリアンを育てる大事な若者の組織ですが、こうした若者たちとも連携してさまざまな奉仕活動に取り組み、ロータリーの活動が世代を超えてもっと多くの人に知っていただくよう努力したいと考えています。

——会員の増強策は難しいのですか。

籠橋 ロータリアンの4人に1人を女性会員にという目標を国際的にも掲げています。2760地区でも6%から8%に増やそうとしています。すでに女性会員がおられるクラブの反応は、「クラブのムードがソフトなものに変わっ

たよ」とか「女性の発想で奉仕活動にもより柔軟になった」と好評です。

——ロータリアンといえば「お金持ちの道楽」といった見方が根強くあり、奉仕活動はつい「唯我独尊」に陥りがちなこともあります。

籠橋 評価は自分ではなく他者がしてくれるものです。一人一人が「歩く広告塔」という意識を持ち、個人個人が奉仕活動に熱心に取り組む魅力的な人間であろうとすれば、他人は「さすがロータリアンだ」という評価をしてくれます。それが自然と会員増強にもつながってくるのではないのでしょうか。一人一人の姿勢、自力が大事だ、と皆様に申し上げております。

さらに地域と積極的に交わり、地域リーダーの方々とのコミュニケーションを通じて私たちの活動の精神を知っていただきたいと思えます。社会奉仕など地域の皆様といっしょに汗を流す、といった取り組みを通じて地域の方々がロータリークラブを身近に感じていただけるようになればと思います。

——今回のロシアによるウクライナ侵略でもロータリーはいち早くウクライナ支援の声明を出されました。

籠橋 ロータリーの奉仕活動は、地域社会の生活向上、貧困の解消、健康の向上といったテーマに目標を掲げています。単に支援金を拠出するだけでなく、支援を必要としておられる現場に出向き、状況を確認しながら自ら活動しています。国際的には、ほかの国のクラブと連携しながら現地に赴くこともあります。ウクライナについては、医療支援や食糧支援などの人道的支援として紛争地域に若い会員が生活物資を届けています。若者から高齢者まであらゆる世代の会員で構成する世界最大の奉仕活動団体がロータリークラブなのです。

——世界が分断されつつある現代では、国際的な奉仕団体の役割がとくに重要ですね。ガバナーとしてのご活躍を期待しております。

（インタビューは名古屋市中区ガバナー事務所で6月1日に行われた。構成は編集部）